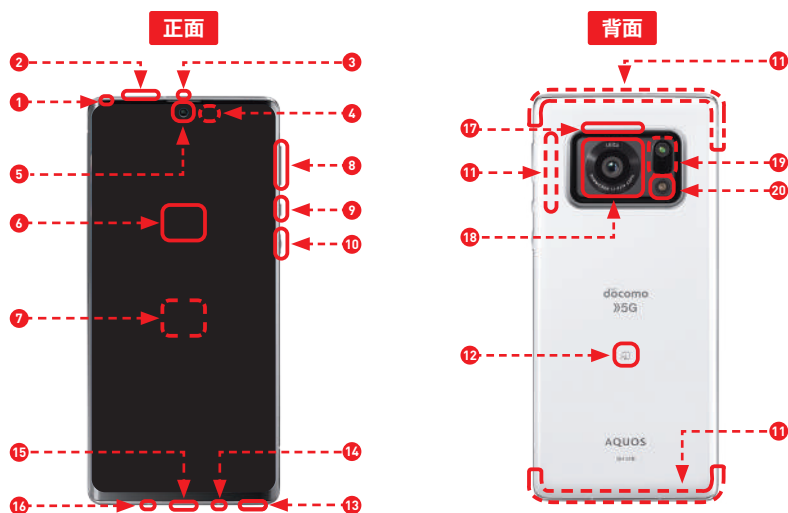


AQUOS R6 SH-51Bについて

AQUOS R6 SH-51Bは、ドコモから発売されたシャープ製のスマートフォンです。Googleが提供するスマートフォン向けOS「Android」を搭載しています。



SH-51Bの各部名称を覚える

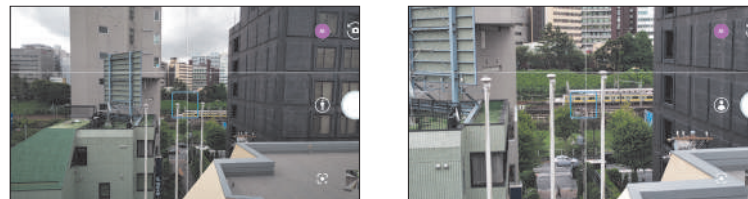


1 マイク	11 5G / LTE / Wi-Fi / Bluetooth / GPSアンテナ
2 nanoUIMカード / microSDカードトレイ	12 Felicaマーク
3 受話口 / スピーカー	13 スピーカー
4 近接センサー / 明るさセンサー	14 送話口 / マイク
5 インカメラ	15 USB Type-C接続端子
6 ディスプレイ / タッチパネル	16 イヤホンマイク端子
7 指紋センサー	17 空気抜き部 (カメラ飾り)
8 音量UP / DOWN (+ / -) キー	18 標準カメラ
9 アシスタントキー	19 ToF (深度測定カメラ)
10 電源キー	20 モバイルライト

SH-51Bの特徴

AQUOS R6 SH-51Bは、5Gによる高速通信に対応したAndroid 11搭載のスマートフォンです。従来の携帯電話のように、通話やメール、インターネットなどを利用だけでなく、ドコモやGoogleが提供する各種サービスとの強力な連携機能を備えています。なお、本書では同端末をSH-51Bと型番で表記します。

● 標準、広角、望遠のトリプルカメラ



標準、広角、望遠のトリプルカメラを搭載しています。被写体やシーンを自動的に判別し、色合いが自動補正されるので、誰でもかんたんにきれいな写真を撮ることができます。最大6倍の光学ズームで写真を撮影できます。

● 大容量バッテリー



5,000mAhの大容量バッテリーを搭載していて、1日1時間の利用で、1週間の電池持ちを実現しています。

● アシスタントキー



Googleアシスタント (Sec.34参照) をすぐに起動できる、アシスタントキーが用意されています。アシスタントキーで起動するアプリを「my daiz」(Sec.48参照)や「エモパー」(Sec.64参照)にすることもできます。

電源のオン／オフと ロックの解除

電源の状態には、オン、オフ、スリープモードの3種類があります。3つのモードは、すべて電源キーで切り替えが可能です。一定時間操作しないと、自動でスリープモードに移行します。



1 ロックを解除する

- 1 スリープモードで電源キーを押すか、指紋センサーをタッチします。



- 2 ロック画面が表示されるので、画面をスライドします。



- 3 ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。再度、電源キーを押すと、スリープモードになります。



MEMO スリープモードとは

スリープモードは画面の表示を消す機能です。本体の電源は入ったままなので、すぐに再開できます。ただし、通信などを行っているため、その分バッテリーを消費してしまいます。電源を完全に切り、バッテリーをほとんど消費しなくなる電源オフの状態と使い分けましょう。

電源を切る

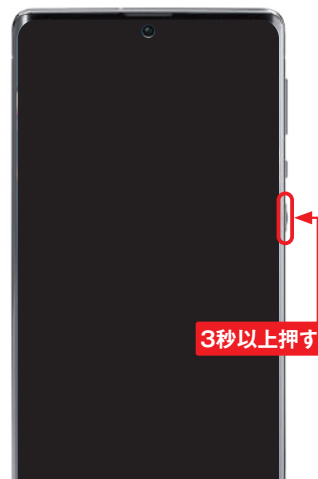
- 1 電源キーを長押しします。「Google Pay」アプリが起動しますが、そのまま押し続けるとメニューが表示されます。



- 2 <電源>をタッチし、表示された<電源を切る>をタッチします。



- 3 電源をオンにするには、電源キーを3秒以上押します。



MEMO ロック画面からのカメラの起動

ロック画面からカメラを起動するには、ロック画面で[カメラ]アイコンを画面中央にドラッグします。



SH-51Bの基本操作を覚える

SH-51Bのディスプレイはタッチパネルです。指でディスプレイをタッチすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部のナビゲーションバーにあるキーの使い方も覚えましょう。



ナビゲーションバーのキーの操作



戻るキー ホームキー 履歴キー

MEMO ナビゲーションバーのキーとメニューキー

本体下部のナビゲーションバーには、3つのキーがあります。キーは、基本的にすべてのアプリで共通する操作が行えます。また、一部の画面ではナビゲーションバーの右側か画面右上にメニューキーが表示されます。メニューキーをタッチすると、アプリごとに固有のメニューが表示されます。



ナビゲーションバーのキーとそのおもな機能

戻るキー／閉じるキー	1つ前の画面に戻ります。
ホームキー	ホーム画面が表示されます。一番左のホーム画面以外を表示している場合は、一番左の画面に戻ります。ロングタッチでGoogleアシスタント（Sec.34参照）が起動します。
履歴キー／マルチウィンドウキー	最近操作したアプリが表示されます（P.21参照）。

タッチパネルの操作

タッチ

タッチパネルに軽く触れてすぐに指を離すことを「タッチ」といいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチアウト／ピンチイン

2本の指をタッチパネルに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スライド（スワイプ）

画面内に表示しきれない場合など、タッチパネルに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スライド」または「スワイプ」といいます。



フリック

タッチパネル上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



ホーム画面の使い方

タッチパネルの基本的な操作方法を理解したら、ホーム画面の見方や使い方を覚えましょう。本書ではホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した状態で解説を行っています。



1 ホーム画面の見方



ホーム画面を左右に切り替える

- 1 ホーム画面は、左右に切り替えることができます。ホーム画面を左方向にフリックします。
- 2 ホーム画面が、1つ右の画面に切り替わります。
- 3 ホーム画面を右方向にフリックすると、もとの画面に戻ります。



- 2 ホーム画面が、1つ右の画面に切り替わります。



MEMO マイマガジンや my daizの表示

ホーム画面を上方向にフリックすると、「マイマガジン」(Sec.51参照) が表示され、手順①の画面でホーム画面を右方向にフリックすると「my daiz」(Sec.48参照) が表示されます。



情報を確認する

画面上部に表示されるステータスバーから、さまざまな情報を確認することができます。ここでは、通知される表示の確認方法や、通知を削除する方法を紹介します。

ステータスバーの見方



お知らせアイコン	ステータスアイコン
新着Gmailあり	マナーモード（ミュート）設定中
不在着信あり	マナーモード(バイブレーション)設定中
伝言メモあり	Wi-Fi接続中
新着+メッセージあり	電波の状態
アラーム設定中	バッテリー残量
何らかのエラーの表示	Bluetooth接続中

通知を確認する

- 1 メールや電話の通知、SH-51Bの状態を確認したいときは、ステータスバーを下方方向にドラッグします。



- 2 ステータスパネルが表示されます。各項目の中から不在着信やメッセージの通知をタッチすると、対応するアプリが起動します。ここではくすべて消去>をタッチします。



- 3 ステータスパネルが閉じ、お知らせアイコンの表示も消えます（削除されないお知らせアイコンもあります）。なお、ステータスパネルを上方向にスライドすることでも、ステータスパネルが閉じます。



MEMO ロック画面での通知表示

スリープモード時に通知が届いた場合、ロック画面に通知内容が表示されます。ロック画面に通知を表示させたくない場合は、P.161のMEMOを参照してください。



ステータスパネルを利用する

ステータスパネルは、主な機能をかたんに切り替えられるほか、状態もひと目でわかるようになっています。ステータスパネルが黒く表示されている場合は、ダークテーマ（Sec.65参照）がオンになっています。



1 ステータスパネルを展開する

- ステータスバーを下方方向にドラッグすると、ステータスパネルと機能ボタンが表示されます。機能ボタンをタッチすると、オン／オフを切り替えることができます。



- 機能ボタンが表示された状態で、さらに下方方向にドラッグすると、ステータスパネルが展開されます。



- ステータスパネルの画面を左方向にフリックすると、次のパネルに切り替わります。



MEMO そのほかの表示方法

ステータスバーを2本指で下方方向にドラッグして、ステータスパネルを展開することもできます。ステータスパネルを非表示にするには、上方方向にドラッグするか、をタッチします。

ステータスパネルの機能ボタン

タッチで機能ボタンのオン／オフを切り替えられるだけでなく、機能ボタンによっては、ロングタッチすると詳細な設定が表示されるものもあります。



機能ボタン	オンにしたときの動作
Wi-Fi	Wi-Fi（無線LAN）をオンにし、アクセスポイントを表示します（Sec.68参照）。
Bluetooth	Bluetoothをオンにします（Sec.70参照）。
マナーモード	マナーモードを切り替えます（P.63参照）。
ライト	SH-51Bの背面のライトを点灯します。
自動回転	SH-51Bを横向きにすると、画面も横向きに表示されます。
機内モード	すべての通信をオフにします。
位置情報	位置情報をオンにします。
リラックスビュー	目の疲れにくい暗めの画面になります（Sec.61参照）。
テザリング	Wi-Fiテザリングをオンにします（Sec.69参照）。
長エネスイッチ	バッテリーの消費を抑えます（P.180参照）。
ニアバイシェア	付近のデバイスとのファイル共有について設定します。
画面のキャスト	対応ディスプレイやパソコンにWi-Fiで画面を表示します。
スクリーンレコード	表示中の画面を動画として録画できます。
データセーバー	通信量の消費を抑えます（P.181参照）。

アプリを利用する

アプリ画面には、さまざまなアプリのアイコンが表示されています。それぞれのアイコンをタッチするとアプリが起動します。ここでは、アプリの終了方法や切り替え方もあわせて覚えましょう。



1 アプリを起動する

- ホーム画面のアプリ一覧ボタンをタッチします。



- アプリ一覧画面が表示されるので、画面を上下にスライドし、任意のアプリを探してタッチします。ここでは、＜設定＞をタッチします。

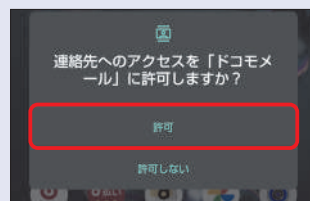


- 設定メニューが起動します。アプリの起動中に◀をタッチすると、1つ前の画面（ここではアプリ一覧画面）に戻ります。



MEMO アプリのアクセス許可

アプリの初回起動時に、アクセス許可を求める画面が表示されることがあります。その際は＜許可＞をタッチして進みます。許可しない場合、アプリが正しく機能しないことがあります（対処法はSec.63参照）。



アプリを終了する

- アプリの起動中やホーム画面で履歴キーをタッチします。



- 最近使用したアプリが一覧表示されるので、終了したいアプリを上方向にフリックします。



- フリックしたアプリが終了します。すべてのアプリを終了したい場合は、右方向にフリックし、＜すべてクリア＞をタッチします。



MEMO アプリの切り替え

手順②の画面でアプリをタッチすると、画面がそのアプリに切り替わります。



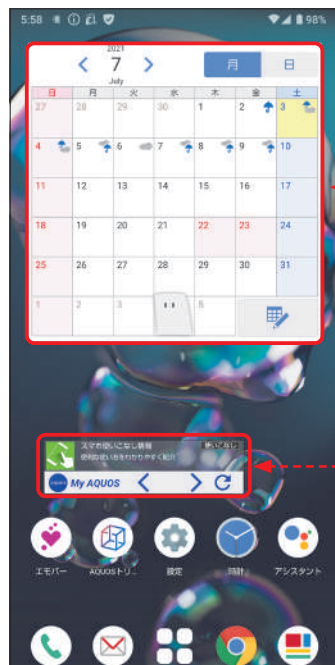
ウィジェットを利用する

SH-51Bのホーム画面にはウィジェットが表示されています。ウィジェットを使うことで、情報の確認やアプリへのアクセスをホーム画面上からかんたんに行うことができます。



1 ウィジェットとは

ウィジェットは、ホーム画面で動作する簡易的なアプリのことです。さまざまな情報を自動的に表示したり、タッチすることでアプリにアクセスしたりできます。SH-51Bに標準でインストールされているウィジェットは40種類以上あり、Google Play (Sec.35参照) でダウンロードするとさらに多くの種類のウィジェットを利用できます。また、ウィジェットを組み合わせることで、自分好みのホーム画面の作成が可能です。



タッチすると詳細を表示するウィジェットです。

アプリを起動したり、アプリの機能をオン/オフにするウィジェットです。

ウィジェットを設置すると、ホーム画面でアプリの操作や設定の変更、ニュースやWebサービスの更新情報のチェックなどができます。

ウィジェットを追加する

- ホーム画面の何も無い箇所をロングタッチし、＜ウィジェット＞をタッチします。



- 画面を上下にスライドして、追加したいウィジェットをロングタッチします。



- そのまま、ホーム画面の好きな位置にドラッグします。



- ウィジェットが追加されます。



- ウィジェットの中には、ロングタッチして大きさを変更できるものもあります。



MEMO 2つのアプリを同時に表示

P.21手順②のとき、マルチウィンドウ対応のアプリでは画面右下に＜分割画面＞と表示されます。＜分割画面＞をタッチすると、選択したアプリが上側に表示されます。別のマルチウィンドウ対応アプリを起動すると、下側に表示されます。



文字を入力する

SH-51Bでは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。「テンキーボード」（一般的な携帯電話の入力方法）や「QWERTYキーボード」などを切り替えて使用できます。

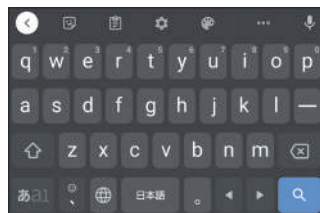


SH-51Bの文字入力方法

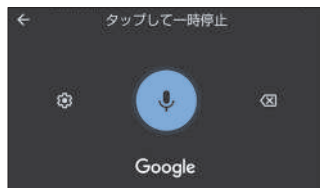
日本語S-Shoin



Gboard



Google音声入力



MEMO 3種類の入力方法

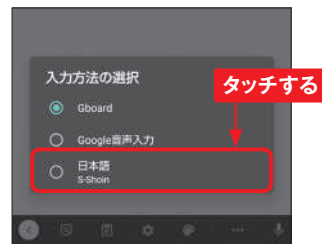
SH-51Bには、「Gboard」、「日本語S-Shoin」、「Google音声入力」の3種類の入力方法があります。本書の解説中では「日本語S-Shoin」を主に利用しています。なお、本書では音声入力は解説しません。

キーボードを切り替える

- ① キー入力可能な画面（ここでは「メモ」の画面）になると、キーボードが表示されます。本書では「日本語S-Shoin」を利用するので、右下のをタッチします。



- ② <日本語S-Shoin>をタッチして、入力方法を切り替えます。



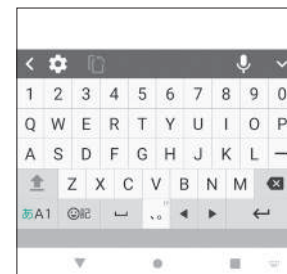
- ③ 「日本語S-Shoin」になりました。をタッチします。



- ④ <キーボードタイプ>→<QWERTYキーボード>の順にタッチします。



- ⑤ キーボードが「QWERTYキーボード」に切り替わります。手順④の画面で<テンキーボード>をタッチすると、「テンキーボード」に切り替わります。



MEMO 設定を表示する方法

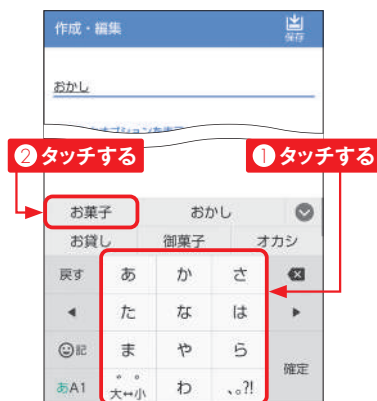
手順③の画面でが表示されていないときは、右上または左上のをタッチすると表示されます。



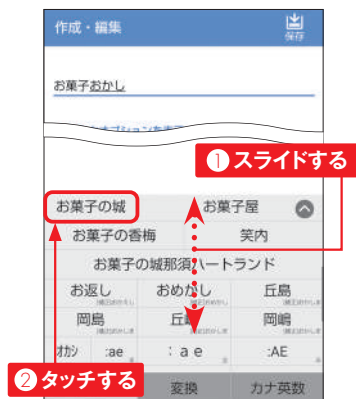
テンキーボードで文字を入力する

● トグル入力を行う

- ① テンキーボードは、一般的な携帯電話と同じ要領で入力が可能です。たとえば、あを5回→かを1回→さを2回タッチすると、「おかし」と入力されます。



- ② 変換候補から選んでタッチすると、変換が確定します。手順①で▼をタッチして、変換候補の欄をスライドすると、さらにたくさんの候補を表示できます。

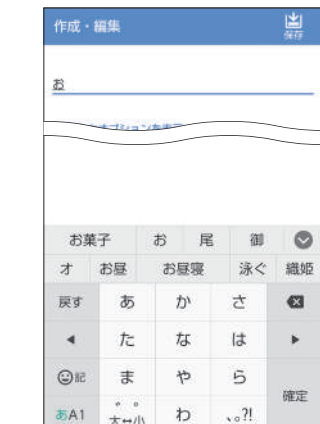


● フリック入力を行う

- ① テンキーボードでは、キーを上下左右にフリックすることでも文字を入力できます。キーをタッチするとガイドが表示されるので、入力したい文字の方向へフリックします。



- ② フリックした方向の文字が入力されます。ここでは、あを下方向にフリックしたので、「お」が入力されました。



QWERTYキーボードで文字を入力する

- ① QWERTYキーボードでは、パソコンのローマ字入力と同じ要領で入力が可能です。たとえば、gijyuとタッチすると、変換候補が表示されます。候補の中から変換したい単語をタッチすると、変換が確定します。



- ② 文字を入力し、＜変換＞をタッチしても文字が変換されます。



- ③ 希望の変換候補にならない場合は、◀/▶をタッチして範囲を調節します。

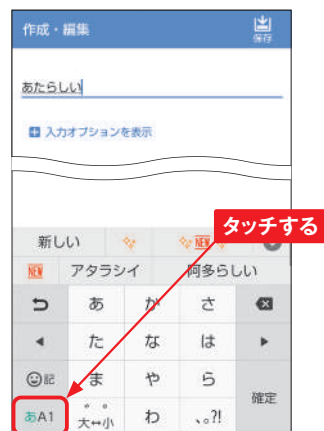


- ④ ＜確定＞をタッチすると、ハイライト表示の文字部分の変換が確定します。



文字種を変更する

- ① あA1をタッチするごとに、「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種が切り替わります。あA1のときには、日本語を入力できます。



- ② Aのときには、半角英字を入力できます。あA1をタッチします。



- ③ 1のときには、半角数字を入力できます。再度あA1をタッチすると、日本語入力に戻ります。



MEMO 入力モードの切り替え

☰→<入力モード切替>の順にタッチすると、入力モードを「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英字」「全角数字」にそれぞれ切り替えることができます。



絵文字や記号、顔文字を入力する

- ① 絵文字や記号、顔文字を入力したい場合は、☺記をタッチします。



- ② 「絵文字」の表示欄を上下にスライドし、目的の絵文字をタッチすると入力できます。<記号>をタッチします。



- ③ 「記号」を手順②と同様の方法で入力できます。<顔文字>をタッチします。



- ④ 「顔文字」を入力できます。←をタッチします。



- ⑤ 通常の文字入力画面に戻ります。

